

# 大分県地球温暖化防止活動推進員活動報告書

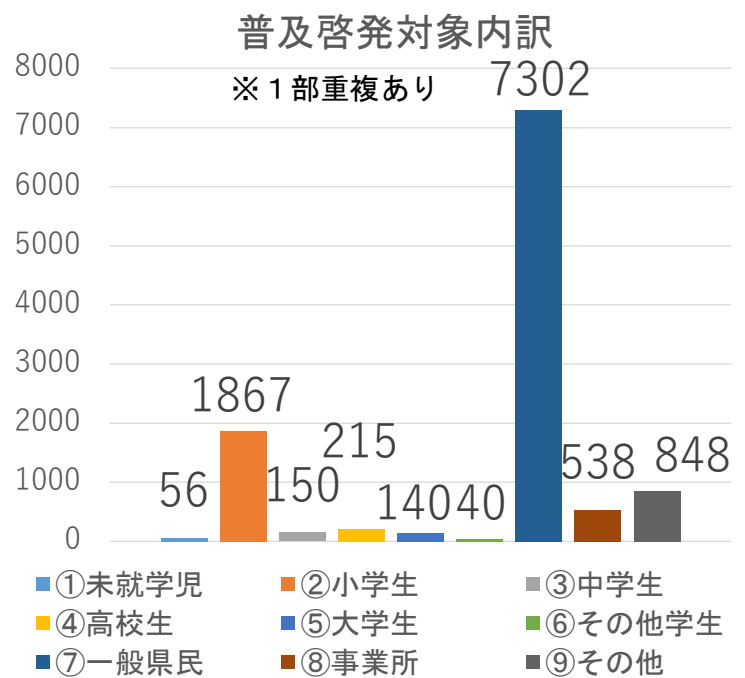
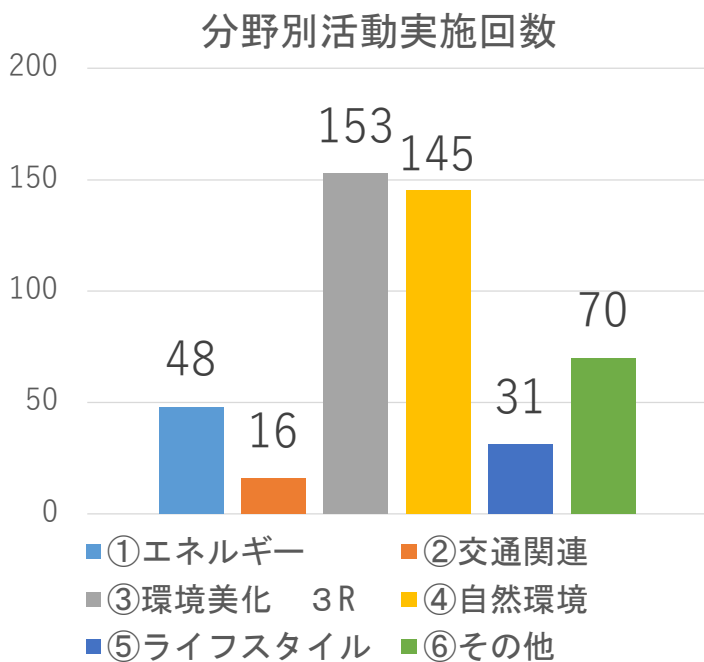
(活動期間：令和4年1月1日～令和4年12月31日)

大分県地球温暖化防止活動推進員設置要綱の(報告)第6にて、推進員は「推進員年間活動報告書」にて毎年年間活動報告状況を報告するものとなっています。

【 推進員数 】 66名 (令和5年3月31日現在)

【 提出率 】 86.4%

【普及啓発人数】 11,156人 【 活動回数 】 444回



## 【講演・講師活動例紹介】

対象	啓発人数	活動内容
一般県民	80人	湯布院町の歴史をテーマに40年前と現在の気候の比較、ごみ処理の変遷や関連する地球温暖化対策としての取組み方法について講演
別府倫理法人会	60人	別府倫理法人会モーニングセミナーにて講演、「倫理＝エシカル未来のために人としてできる事をしよう」
豊後大野市 新人議員	6人	豊後大野市の新人議員(6名)に対し、気候変動や温暖化対策問題についてレクチャーを行った。近年の異常気象災害(世界・国内)・将来予測、世界や国内の取組み等を説明。
一般県民	40人	ネイチャーゲームや野外炊飯などを通して自然と触れ合ってもらい、自然の大切さを伝える1泊2日の自然体験サマーキャンプを実施

## 【広報活動例紹介】

対象	啓発人数	活動内容
一般県民	550人	佐伯市主催の「さいき903クリーンアップ大作戦」への参加要請に合わせ、プラスチックごみにかかる啓発を青山地区公民館だよりに掲載
婦人会員	300人	婦人会員向けに広報誌を配布し、地球温暖化防止活動を実施
一般県民	20人	大分駅北口広場で一般の方へ温暖化防止のチラシを配布し啓発活動を実施
一般県民	100人	公民館で世界的な気候変動の事例を紹介した啓発展示を実施 図書館で開かれた環境に関する展示を監修

## 【対象別活動例紹介】 ※普及啓発人数が比較的少ない①③④⑤⑥を啓発対象とする活動を紹介

対象	啓発人数	活動内容
①未就学児	400人 (他の対象も含む)	小学校や幼稚園の校庭や近くの公園などで自然観察を通じて環境教育を実施
	50人以上 (他の対象も含む)	里山遊び、水遊びなどを通して環境教育を実施
③中学生	40人	プラごみについての基礎を学んでもらい、プラごみアートを作るための意識づけを指導
	8人	山の散策、かぼすの収穫を行いながら、自然に触れ、生物多様性を学ぶ
	60人 (他の対象も含む)	年代を問わず包括的に地域住民の参加を募り、脱炭素促進共同体の実現を目指す勉強会を実施
④高校生	100人	身近な環境問題や地球温暖化対策のための先進的な取り組みを高校生に紹介
	20人	ゴミの分別や異常気象、SDGsなどをテーマとした環境講座の実施
⑤⑥大学生・ その他学生	120人	大分大学の講義で地球温暖化と食品ロスの関連を分析し、対策方法を紹介
	40人	筑後川上流域の自然エネルギーに関する講義

## 【大分県生活環境部脱炭素社会推進室より】

大分県内での地球温暖化防止活動の推進に御尽力いただきまして感謝申し上げます。  
新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、これから脱炭素社会実現に向けて皆様の活動のさらなる拡大を期待するとともに、大分県においても様々な施策を行い、取り組みを加速化していきたいと思っております。今後とも御協力をお願いいたします。